

NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク 御中

---

## 地域・個を越え、全国を繋ぐ、列島横断 「オレンジリボン・メッセージ」リレー

---

報告書

2024年3月6日

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク



# 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])①チラシ

## 袋中園初の、オレンジリボン啓発を核とした地域交流イベントを開催し、多くの地域の方からの協力と関心を寄せることとなりました

**オレンジリボン啓発イベント 袋中園に全員集合!!**

**第1回**

# 袋中園まつり

**2023年11月25日(土) 13:00スタート**  
(16:30終了予定)



縁日コーナー  
アメリカンドッグポップコーンジュース  
ミニコンサート (楽友協会のみやわ)  
保護犬譲渡会  
このほかにも色々あるよ!  
創作エイサー  
LIVE OKINAWA AMERICANA  
mummy'sマーケット  
サッカー教室

※内容が変更となる場合もあります

**地域で子ども達を見守ろう**

**【お問い合わせ】**  
社会福祉法人 袋中園  
沖縄県糸満市字阿波根567番地  
電話：098-994-5134  
FAX：098-994-9440  
Eメール：seibun@taichuen.or.jp

**【主催】** 一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
**【共催】** 社会福祉法人 袋中園 / 認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク  
**【協力】** 一般社団法人 楽友協会のみやわ / mummy'sマーケット / OKINAWA AMERICANA / SRK KickboxingGYM / 真純太鼓 稀楽

**オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。**

拝啓 立冬の候 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
袋中園は今年創立46周年を迎えました。乳児院「吉水寮」障害児入所施設「そよせ寮」児童養護施設「青雲寮」障害者支援施設「おぞら寮」障害児通所支援施設「和順」と大きく5つの事業を展開しています。利用者・児童は100名以上、職員数も100名を超える大きな法人になっております。  
児童養護施設では様々な背景で家庭に生活することが困難な児童が入所しています。青雲寮では地域小規模児童養護施設(グループホーム)を3か所運営しています。袋中園とは別の住所に点在しており、地域の中で暮らしている児童が18名います。  
「地域全体で子どもたちを見守ってもらえる環境」、「ワッターシマノワラビンチャー」として子どもたちが守られ、安心して暮らせる地域づくりが広がっていくことを私たちは願っています。  
令和3年度から「オレンジリボン啓発イベント」に「青雲寮」が参加したことをきっかけに、一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワークの代表理事江口様、専務理事加藤様とのご縁をいただき、この度「第1回袋中園まつり」を一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク様主催、袋中園が共催で開催する運びとなりました。  
今回「まずは地域の皆様にもオレンジリボン運動と袋中園を知ってもらおう」というコンセプトの元、子どもから大人まで楽しめるイベントを用意いたしました。  
軽食もご用意してお待ちしております。  
地域の皆様と子どもたち、利用者の交流の場として楽しい時間を共有していただければ幸いです。

袋中園 児童養護施設 青雲寮  
施設長 北谷 誠

児童虐待通報件数は年々増加し、命の危険と隣り合わせになっている子ども達を見逃さずわけにはいかない深刻な事態となっております。  
児童虐待通報と言えば「ダイヤル1189」が日本全国に認知され、児童虐待防止対策が確立されたように思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、弊団は、児童虐待がまだまだ「他人事」と捉えられている現状に目を向ける必要があると考えております。  
メディアで児童虐待の報道がなされると、インターネット上のSNSなどでは虐待をした親やその対応をしてきた児童相談所への誹謗中傷コメントが数多く発信されます。確かに虐待をした親は許し難く、児童相談所の判断や行動も結果として誤りがあったのかもしれない。しかし、見方を変えれば、我々大人達は、そのようなコメントを発信することで、「悪人」と「善人」という境界線を引き回しているとも言えます。つまり、我々大人達は「悪人」を作り上げること、ひいては自分が「善人」という立場である、という線引きをすることで満足し、虐待を「他人事」とし、結局のところ「無関心」になっているのではないのでしょうか？  
弊団は、今一度、児童虐待防止についてできること、児童養護施設で暮らしている子ども達について応援できることを、大人の一人一人が考え、地域で取り組んでいく必要があると考えております。本イベントが、その課題を地域で考えるきっかけとなる事を願っています。

一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
代表理事 江口 義美  
専務理事 加藤 孝子

**みんなで見ませんか？(動画でオレンジリボン運動)**

**【音楽朗読劇「もしも、あの時」】**  
原作:たにひろこ(絵)&加藤孝子  
脚本・演出:加藤孝子

**【音楽朗読劇「かーくん】**  
原作:たにひろこ(絵本「かーくん」)  
脚本・演出:加藤孝子

**動画URL**  
「子育てに難気を料した女性が出会ったのは...」  
<https://www.youtube.com/watch?v=jx0NwON0dgl&t=41s>

**動画URL**  
「児童養護施設で暮らすかーくんは悪い子?」  
<https://www.youtube.com/watch?v=sEa3bt59wk8>



## 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])②イベント当日の様子

同園初のオープンなイベントとは思えないくらい多くの地域来場者(300人以上)があり、地元メディアや市議会議員までもお越しになりました



袋中園ホームページにも掲載されています

<http://www.taichuen.or.jp/news/index.cgi?detail=2526&p=100>



# 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])③生の声を届ける

## 袋中園の職員さんに事前アンケートをとり、集計を来場者に配布することで、オレンジリボンや社会的養護の子ども達について生の声を届けることが出来ました

Presented by 一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

「第1回 袋中園まつり」特別企画  
袋中園の職員さんからのメッセージ **抜粋版**

「第1回 袋中園まつり開催にあたり、袋中園の職員の皆様にあらかじめアンケートを実施させていただきました。これからの福祉施設は、地域との関わりがとても大切であり、入所している子ども達の成長に大きな影響を与えるものとなります。一人でも多くの皆様に、地域全体での子育て・見守りに関心を持ってもらえたら幸いです。また、質問ブースにて、アンケート全回答内容をご用意しておりますので、お気軽にお尋ねください。」  
一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
代表理事 江口義実 専務理事 加藤孝子

1. 皆様のご担当の施設の子ども達について、地域の皆様へ伝えたいこと、知ってもらいたいこと、を教えてください。

施設を知ってほしい

児童養護施設は、家庭に何らかの事情があり、保護者のもとで暮らすことができない子ども達が生活している所です。なので、子どもが理由で入所している訳ではありません。  
また、両親がいないのではなく、家庭によっては入所後も親との交流が続いている子や養育環境が整い、家庭復帰する子もいます。里親のもとで生活を始める子もいます。

乳児院という施設自体知らない方が多く、実際沖縄県にも1カ所しかない施設なので、もっと認知度が高くなれば、施設に保護されている子ども達の現状を知ってもらえるかなと思います。

児童養護施設や乳児院に比べて、「障害児入所施設」を知っている人は少ないと感じます。私たちの施設でも、養護や乳児院と同じように、子ども達が生活しています。こちらから学校に通ったり、自立していく子もいます。その中には親の支援を受けられる子もいれば受けられない子もいます。自立したからとて、支援が引き続き必要な子も多いです。そういった意味では、養護や乳児院と何も変わりません。社会的養護を取り巻く環境が少しずつ良い方向に変わっていく中で、障害児入所施設も入れてほしいというも思っています。

もっともって、障害児入所施設が存在が広がり、興味を持つ人が増え、支援の輪が広がっていくことを強く願います。

子ども達を知ってほしい

被虐待の中には他人への攻撃的な言動、性的な言動、自傷行為等々の言動がありますが、これらは、そうせざるを得ない環境で生きてきたことが影響している事もあるという認識を持って欲しい。  
ですが、関わりを持つ際は、上記のような背景があるなどどちらにせよ、善悪の指導など、一般家庭の児童と変わらない対応を取って欲しいです。

何らかの理由で父親と生活出来ない子ども達だけ再び一緒に暮らせるようになるまで安心して暮らせる環境で生活しています。  
施設での生活は一般家庭と異なるところもあるけれど、特別な子ども達ではなく、近所の子どもという気持ちで生きてほしい。

当施設では様々な障がいを持った児童が生活しています。軽度の子どもから重度の子どもまで程度も様々で、中には当施設を卒業したら地域社会で生きていく児童もいます。将来、同じ地域で暮らしていく一員として接して頂けたら幸いです。

※こちらは【抜粋版】となります。全内容はゴール(ソーシャル・アーティスト・ネットワーク)のブースにあります。

Presented by 一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

2. 誰もができる、オレンジリボン運動にはどんなことが考えられますか？

「互いに劣い合う習慣づくり」  
子どもと関わる専門職に限らず、親や身近な大人であっても、**子どもと関わるすべての大人に「心の余裕が必要不可欠」と考えます。**子どもには、与えるが、受け止めたり、受け入れたりする大人の寛容的な姿を見せることも大切だと思います。自分の隣にいる人、自分と一緒に働いている人、誰でもいいので**相手のことを思う習慣**を作ること、心にゆとりを生みきっかけになるのではないのでしょうか。笑顔で相手を労うことがその人の安心につながり、その人もまた誰かを労うことで「虐待」という行為を間接的に抑制できるのではないのでしょうか。

近所の人を見かけたら、あいさつをすると良いと思います。ここには人が生きて住んでいる「私」に関心を払っているというメッセージになります。事情があっても自宅から出まらないうちは、外から聞こえる子どもの泣き声「いたい」とか叫び声と一緒に、大人の怒声がないか、物がぶつかると「ド」ガシャ」等の音がしないかを聞き、状況を189にダイヤルして伝えることが必要だと思います。他人と接する時、大声にならない、威圧しないことは社会に恐怖を蔓延させないため、気をつけなければならないことです。蔓延した恐怖のしわ寄せは力の弱い者に集中します。

まずは、関心を持つことと、虐待を受けている子に身近にいるかもしれないと考えたり、いざという時は、「189(イチハヤク)」に電話するという意識を持つことが大切だと思います。

虐待防止のためには、**地域の見守りが必要**と考えます。普段の挨拶や近所との付き合いなどの身の回りの方々に多少の関心を持って頂き、地域の方々とほんの少しの関係性を作る事が地域見守りの第一歩として大切になるのではないかと考えています。

交通安全指導や挨拶運動など、地域活動の際に子ども達への声掛けや子ども達の様子を気にかかり、気になる子どもがいたら学校側や他の地域の方に伝えたり、連携をとるなどの関わりをもっとほしいです。

虐待を受けていると知らずに生活している子ども達がいると思うので、**子ども達に虐待とはなにが教える、子ども自身が他人にSOSを言えるよう教育する場を設ける。**  
子どもに関わる大人が、日頃から体調の変化や家庭・学校でどう過ごしているか子ども達と話すことで、異変にいち早く気づくことが出来るようにする。

地域で変える仕組みを作る。親だけでなく、他者とも関わることで親の負担を減らすことが出来たり、安心して相談する場所を作ること虐待を未然に防ぐことにつながっていくと思う。

児童養護施設や乳児院など、親と離れて暮らしている子ども達がいることや、そのような子ども達が住んでいる施設があるということを知ること、**知る**ということが**誰も出来る運動**だと思う。知ることで興味も湧きそこからボランティアなどの行動に移せると思う。

※こちらは【抜粋版】となります。全内容はゴール(ソーシャル・アーティスト・ネットワーク)のブースにあります。

Presented by 一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

地域全体で子育て・見守りを

施設で育っている児童は、幼い頃より集団での生活を送っている事もあり、一般家庭と常識のギャップがある事多々あります。例えば一般家庭ではトイレットが男女でわかれていない事を知らない等があります。社会に出た際に、そのギャップが生きてさらに驚かしてしまうと考えます。それに加えて、施設で育っている児童は、普段より施設内の児童とばかり遊んでいます。私は施設と一般家庭のギャップを少しでも埋めて行くために施設児が地域に出て友人と遊ぶ事で一般常識を学ぶことが大切だと考えます。そのために地域の皆様方にも、児童養護について知って貰い理解して頂く事で、地域と施設とでより良い関係での支援が実現できると考えます。

施設の雰囲気や子どもたちの様子を地域の方に知って貰いたいと思う。施設の子どもたちも地域の学校に通うわけだから、地域コミュニティ作りのために施設について知ってもらい、お互い協力、理解し合えるような環境にしていきたい。

障がい児入所施設なので、地域の方の理解と温かい見守りを得られると心強いです。他の子には違う行動をしている子に対して、怖い、何だろう？大丈夫？と思うことは多々あるかと思いますが、普通に話しかけてもらって大丈夫です。

障害のある児童にとって、将来、自身の身の振り方が考えられない子もいます。そのような児童に対しては、基礎学力の向上といった支援を行ってあげます。が、果たして就労支援事業所や一般企業への障害者雇用等の就職で上手いのか不安は残ります。  
児童たちは苦手な部分も多くありますが、得意な分野に関しては、他者に負けない力を持っています。例えば、手洗い洗車を任せると、ハンパーブレードの裏側やホイールカバーを外して洗うなど、手振きの無い仕事ぶりを見せてくれます。

このような児童を地域の方が理解して下さり、多くの児童が将来就職できる職場が増えたいかと考えています。

感謝申し上げます

地域を散歩する際に、犬や猫、やぎ、庭の草花を見ながら、子どもたちは、自分が将来作であろう家庭や住むであろう家、そこで自分かのように役割を果たしていくかを想像したりして思い入ります(実際そのような話をします)。いつもあたたかく見守ってくれるだけでなく、子どもたちが成長するにあたって良い刺激を与えてくださることを本当に感謝しています。ありがとうございます。

施設に預けている子は何らかの理由で家族での養育が受けられない可哀想、施設に住んでいるというイメージが強い。地域の方に知ってほしい事は、子ども達が安心して過ごしている家庭(家)だと知ってほしいです。  
ただ嬉しいことは園近隣の方が散歩中によく声をかけたり、庭にいる動物を見せてくれて子ども達とても喜んでます。園近隣の方は子ども達にいつも優しく感謝しています。

地域の皆様のご理解やご協力があったからこそ、これまで運営することが出来ていると思います。今後も利用者さんや子どもたちの安心安全のためにお力添えを頂くと考えています。よろしくお願致します。

※こちらは【抜粋版】となります。全内容はゴール(ソーシャル・アーティスト・ネットワーク)のブースにあります。

上図は抜粋版ですが、希望者には、弊団ブースで全内容について配布させていただきました

## 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])④シールラリーで交流

来場者に各ブースに立ち寄ったり、腕章をつけた人たちからの質問に答えることでシールを集めゴールできる仕組みが地域の交流と啓発を促進させました





# たいちゅうえんまつり シールラリー

それぞれのおたのしみでシールをもらおう！シールがたまったら**ゴール**でおかしをもらおう！

### ステージ

①エイサー(真純太鼓 稀楽)	13:20~13:45
②ミニコンサート(楽友協会おきなわ)	14:00~14:30
③キックボクシング体験教室(SRKジム)	14:30~15:00
④サッカー教室(兼城・F・ジュベントス)	15:00~16:00
⑤ミニコンサート(沖縄アメリカナ)	16:00~16:30



### おみせ

- ①保護犬譲渡会
- ②クラフト
- ③マミースマーケット  
(ヘアセット、ネイル、ヘアアクセテコ、ポティペイント)
- ④バザー
- ⑤縁日コーナー
- ⑥食べ物コーナー




### かくれキャラ

キャプテンマークをつけている人からのしつもんにご答えよう！





## 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])⑤アンケート結果

来場者(大人)の4割強の方がオレンジリボンについて知らなかったと回答し、啓発意義の高さが伺え、当イベントの継続開催への期待が高いことも分かりました

今回、袋中園の初の取り組みとして「第1回袋中園まつり」を介させていただきましたが、子どもようすや表情など、お気づきになったことをお聞かせください

(一部の回答を抜粋)

とても楽しそうにまつりに参加していると思いました。残念ながら約30分ぐらいしか参加できず、申し訳なく思います。**次回、このような祭りがありましたら、また、是非参加させていただきたく存じます。素晴らしい取り組みだと思しますので今後継続させていただきたく思います。**

とても活気があって子ども達も楽しそうにしていたので、**是非第2回もお願いします。**子ども達一人一人が楽しそうに参加していました。とても良い第1回袋中園おまつりになったと思います。

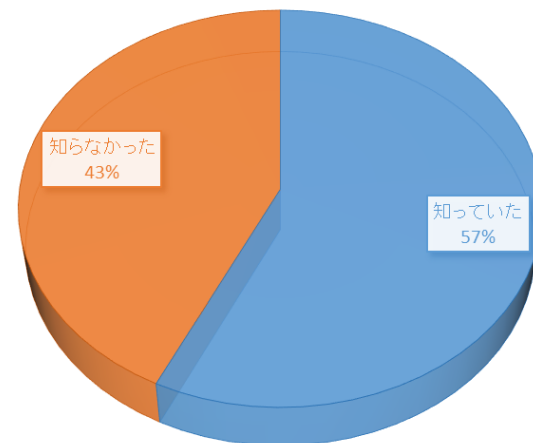
チラシをもらったので来ました。普段と違う姿が見れてよかったです。

サッカー教室でふだん見ることのできない表情や動きが見れた。

交流ができて良かったです。

子供が自由に行動して職員の方が皆さん優しくしているのが伺えて良かった。

オレンジリボンについてご存知でしたか？(N=35)



## 第1回 袋中園まつり(2023年11月25日@袋中園[沖縄県糸満市])⑥他への波及

当イベントについて、糸満市の市議会でも取り上げられ、市における児童虐待防止が一般質問として確認されたり、地元メディアからの取材もありました

### 【糸満市市議会】

令和5年第7回(12月)定例会「一般質問通告書」(P.7)

<https://www.city.itoman.lg.jp/uploaded/attachment/13000.pdf>

(金城悟市議より)

<件名>

児童虐待防止推進月間について

<要旨>

去る11月25日に子ども虐待をなくそうオレンジリボン啓発イベントの一環となる袋中園まつりに参加してきました。そこで伺う

- (1) 児童虐待防止推進月間の取組状況を伺う
- (2) オレンジリボン憲章とは何か
- (3) 子ども虐待防止オレンジリボンの後援について
- (4) 本市に袋中園まつりへの案内はありましたか
- (5) 袋中園まつりの経緯
- (6) 袋中園まつりの主催者、共催者、ステージ協力者等

### 【まちテラスTV】

【袋中園祭り】開催の思い

<https://www.youtube.com/watch?v=sEOPtbzhYmA>

♪「第1回 袋中園まつり」の様子(動画)

♪ 袋中園 児童養護施設「青雲寮」養護主任 長嶺雄太さん インタビュー  
※弊社及びオレンジリボンについてコメントされています。



# 「フルートオーケストラ・コンサート」(2023年12月9日@宮崎地域ケアプラザ[横浜市])①チラシ

## 横浜市の地域福祉交流拠点として100以上点在する、地域ケアプラザでのオレンジリボン啓発コンサートは、予約で満席のイベントとなりました

### オレンジリボン(子ども虐待防止)啓発イベント

## オレンジリボン音楽祭2023 フルートオーケストラ・コンサート



### 沖縄からのメッセージ

沖縄県糸満市「袋中国」の乳児院・児童養護施設・障害児支援施設で暮らす子ども達・職員・地域市民による交流で得られた、地域における子ども虐待防止や子ども達を応援する取り組みをご紹介します。

【MC】一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク 江口義美(代表理事) 加藤孝子(専務理事)

#### C. マクマイケル

### 眠れる熊の伝説

LEGEND OF THE SLEEPING BEAR

米園ミシガン湖に伝わる有名な親子熊の伝説を朗読付きで演奏します。

#### R. ロンバルド

### 南西部のスケッチ

SOUTHWESTERN SKETCHES

米国アリゾナ州の「ツーソン・フルート・クラブ」が設立50周年を記念して書かれた作品。日本では「フルートアンサンブルで社会貢献」による演奏が唯一許されています。各楽章からのメッセージを皆様と共有していきたい名作です。

他

①・②とも同じ内容となります

2023年12月9日(土) ①11:00~ ②14:00~

於:横浜市宮崎地域ケアプラザ(横浜市西区宮崎町2番地)

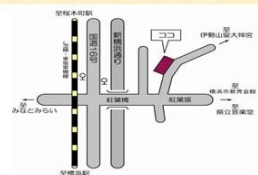
【予約申込: ☎ 045-261-6095(担当:地域活動交流)】

【主催】一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
【共催】横浜市宮崎地域ケアプラザ / 認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク



オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

#### MAP 「横浜市宮崎地域ケアプラザ」



#### 「横浜市宮崎地域ケアプラザ」のご案内

横浜市宮崎地域ケアプラザは桜木町駅から徒歩圏内で、紅葉坂のそばの文化施設の多い閑静な場所にて平成12年1月に開所いたしました。地域の中で、誰もが孤立することなく、また支援を必要とする人を、支えられるような地域づくりのために、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供することを目的に設置されました。地域住民が気軽に立ち寄り、福祉・保健の拠点として頼りになる、明るい施設を目指しています。

児童虐待通報件数は年々増加し、命の危険と隣り合わせになっている子ども達を見逃すわけにはいかない深刻な事態となっております。

児童虐待通報と言えば「ダイヤル189」が日本全国に認知され、児童虐待防止対策が確立されたように思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、弊団は、児童虐待がまだまだ「他人事」と捉えられている現状に目を向ける必要があると考えております。

メディアで児童虐待の報道がなされると、インターネット上のSNSなどでは虐待をした親やその対応をしてきた児童相談所への誹謗中傷コメントが数多く発信されます。確かに虐待をした親は許し難く、児童相談所の判断や行動も結果として誤りがあったのかもしれない。しかし、見方を変えれば、我々大人達は、そのようなコメントを発信することで、「悪人」と「善人」という境界線を引いているとも言えます。つまり、我々大人達は「悪人」を作り上げること、ひいては自分が「善人」という立場である、という線引きをすることで満足し、虐待を「他人事」とし、結局のところ「無関心」になっているのではないのでしょうか？

このような事態を、虐待に遭っていた子ども達はどう感じるのでしょうか？

「どうして誰も助けられなかったの？」と思っているのではないのでしょうか？子ども達にとっては、そのような大人達の立場の違いはどうでもよく、自分達を助けてくれなかった大人達全員を「悪人」として捉えているかもしれません。

弊団は、今一度、児童虐待防止についてできること、虐待に遭い児童養護施設で暮らしている子ども達について応援できることを、大人の一人一人が考え、地域で取り組んでいく必要があると考えております。本イベントが、その課題を地域で考えるきっかけとなる事を願っています。



一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
代表理事 江口義美  
専務理事 加藤孝子

#### みんなで見ませんか？(動画でオレンジリボン運動)

##### 【音楽朗読劇「もしも、あの時」】

原作:たにひろこ(絵) 加藤孝子  
脚本・演出:加藤孝子



「子育てで難関を制した女性が出会ったのは...」  
<https://www.youtube.com/watch?v=jxQnwONQdgl&t=41s>

##### 【音楽朗読劇「かーくん」】

原作:たにひろこ(絵本「かーくん」)  
脚本・演出:加藤孝子



「児童養護施設で暮らすかーくんは悪い子？」  
<https://www.youtube.com/watch?v=sEa3bT59wk8>



## 「フルートオーケストラ・コンサート」(2023年12月9日@宮崎地域ケアプラザ[横浜市])②当日の様子

横浜市の地域福祉交流拠点として100以上点在する、地域ケアプラザでのオレンジリボン啓発コンサートは、予約で満席のイベントとなりました



「フルートオーケストラ・コンサート」(2023年12月9日@宮崎地域ケアプラザ[横浜市])③啓発内容

音楽作品自体にあるメッセージ(親子愛、愛情など)、「第1回袋中園まつり」での取り組み、被虐待児の感情の育ちについてなど多方面から啓発を実施しました

オレンジリボン(子ども虐待防止)啓発イベント

オレンジリボン音楽祭2023  
フルートオーケストラ・コンサート

2023年12月9日(土) ①11:00~ ②14:00~ 於:横浜市宮崎地域ケアプラザ  
演奏:フルートアンサンブルで社会貢献 指揮:江口義美

R. ロンバルド  
**クリスマス・ファンタジー** CHRISTMAS FANTASY  
クリスマスになると一度は耳にする有名なクリスマスキャロルをメドレーにした、オーブニングに相応しい明るく楽しい作品に仕上がっています。

**沖縄からのメッセージ**  
沖縄県糸満市「袋中園」の乳児院・児童養護施設・障害児支援施設で暮らす子ども達・職員・地域市民による交流で得られた、地域における子ども虐待防止や子ども達を応援する取り組みをご紹介します。  
一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク 江口義美(代表理事) 加藤孝子(専務理事)

C. マクマイケル  
**眠れる熊の伝説** LEGEND OF THE SLEEPING BEAR  
米國ミシガン湖に伝わる有名な親子熊の伝説を朗読付きで演奏します。

R. ロンバルド  
**南西部のスケッチ** SOUTHWESTERN SKETCHES  
米國アリゾナ州の「ツーソン・フルート・クラブ」が設立50周年を記念して書かれた作品。日本では「フルートアンサンブルで社会貢献」による演奏が唯一許されています。各楽章からのメッセージを皆様と共有していきたい名作です。

一般社団法人  
ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

フルートアンサンブルで社会貢献

「アートで社会貢献」をモットーに、2009年より活動開始。2012年4月に法人化。  
行政・福祉施設・大使館・アーティスト等、様々な期間や人々と連携しながら、  
・子ども虐待防止(オレンジリボン運動啓発)  
・社会的養護支援(被虐待児の感情の育ち支援)  
・ノーマライゼーション(障害の有無を超えたアート交流)  
・国際交流(ケニア・マダガスカル・アメリカ等との文化交流)を推進。2023年より活動範囲を日本全国、海外に拡大中。

2011年より活動開始。関東各地(世田谷・横浜・さいたま・船橋・千葉)の5つの演奏グループで構成され、各地での活動はもとより、昨今は一室に会して、さらに規模の大きな編成で演奏し、社会貢献解決や地域交流に寄与すべく活動中。  
・オレンジリボン運動啓発コンサート  
・米國アリゾナ州「ツーソン・フルート・クラブ」との交流&共演(さいたま市・アリゾナ州フェニックス)  
・障害の有無を超えた合同演奏で地域交流促進  
・ウクライナの子ども達支援チャリティー演奏  
・児童養護施設クリスマス会での演奏 など

【主催】一般社団法人 ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
【共催】横浜市宮崎地域ケアプラザ / 認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

主催:一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク  
共催:認定特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

オレンジリボン音楽祭2023



子ども虐待防止と社会的養護支援について

被虐待児にとって「感情基盤」醸成が必要

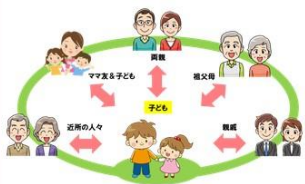
【問題行動を繰り返す子ども】



【社会生活が困難】



【様々な大人達に受け入れられる】



【「感情」と「言葉」を結びつける】



「袋中園」(沖縄県糸満市)での取り組み

【第1回 袋中園まつり (2023年11月25日)】



【おたのしみ日記】



VOICE「おたのしみ日記」について

取り組みがやみで、日々の様々な生活の中で関わることが、継続的な学びへとつながり、養育者や子ども達、スタッフの成長につながります。まずは第一歩だと思います。他の方々の子ども達と関わりたいと思います。



養功 先生  
法政大学  
文学部心理学科  
教育実習生

来年、第2回開催も決定!

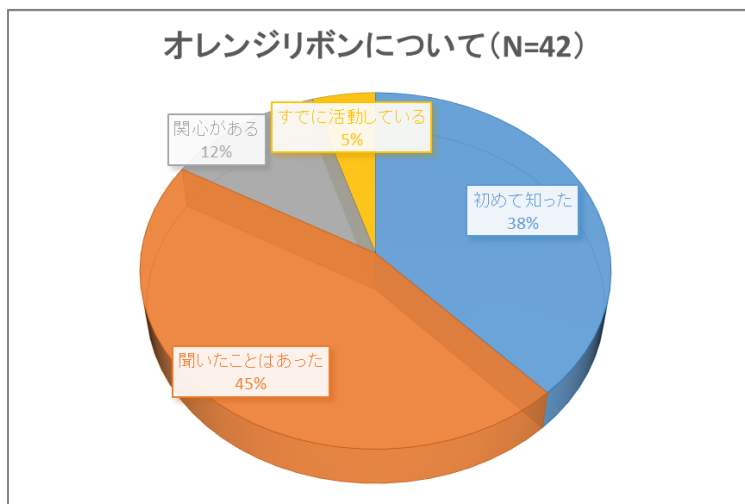


「フルートオーケストラ・コンサート」(2023年12月9日@宮崎地域ケアプラザ[横浜市])④啓発グッズ提供

沖縄のシンボル、ミンサー柄(オレンジ)とオレンジリボンによるキーホルダーを制作し、沖縄(での虐待防止)との繋がりを感じてもらうべく来場者に配布しました



## 来場者の4割弱がオレンジリボンについて「知らなかった」とする一方、児童養護施設についての認知は9割以上と高いが、支援・応援などに至る人は極僅かであった



### 【主なコメント(抜粋)】

今後もこのような啓発活動があれば参加したい

他人事ではなくできることは協力したい

大人の困り感、大人の不安感(経済的・精神的・漠然とした社会に対する不安感etc.)のはけ口が子供に向かっていると考えると、児童虐待防止は、大人の「幸福」支援(経済的・精神的...)が根本的な課題と考える

町内会で何かの集まりの時に、話す機会を作りたいと思います  
横浜市内のコミュニティハウスのイベント等でも紹介したいです

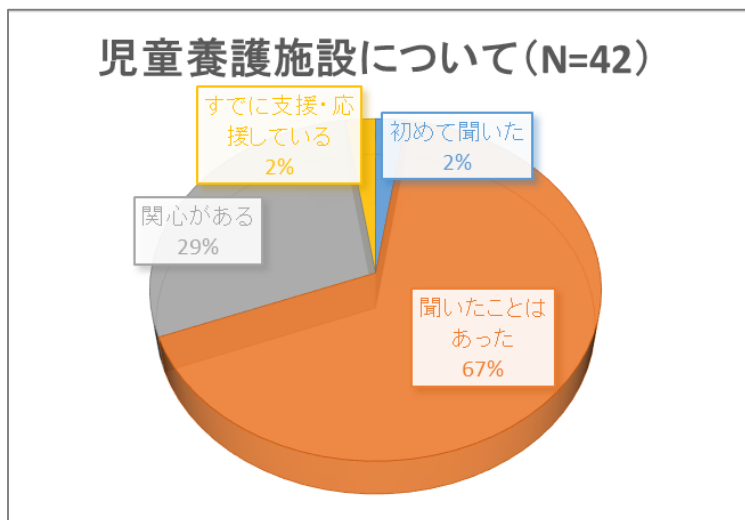
怖いので見たくないと思っていましたが、それ以上に知ることが大切だと気が付きました

とても素晴らしい取り組みだと思います。応援しています

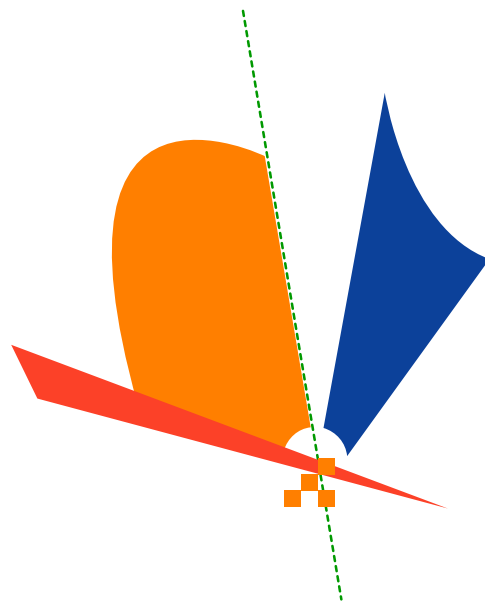
出来たら、もっと若い時に知りたかったです

まずは関心を持ち、地域で子どもを見守ることをしていきたい

長い間小学校で養護教諭として働いてきました。地域に児童養護施設があり、子ども達が通ってきていました。色々な背景を背負った子ども達、その子たちがどんな人間に成長するか、社会でどう生きていくか、出会った子ども達の顔が浮かんできます。そんな子ども達に優しい社会としたいと思います







# Social Artist Network

Art brings people  
close to people

**info@socialartists.net**